

令和4年第2回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

まず、はじめに、「新型コロナウイルス感染症にかかる市の状況」について申し上げます。

本年1月から3月にかけての感染拡大の「第6波」では、感染力の強いオミクロン株により、「まん延防止等重点措置」が適用され、新規感染者数も、これまでにないスピードで増加しました。その後、感染者数は減少に転じたところですが、先月5月のひと月で、市内の新規感染者数は300人を超え、予断の許さない状況が続いております。

本市におけるワクチン接種については、3回目の接種率が全体で約68%と高いものの、10代、20代では約33%と低い状況となっております。

また、このたび4回目のワクチン接種が開始され、対象者は60歳以上の方、18歳以上で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方で、現在、3回目の接種から5か月を経過している該当者に、順次、接種券を送付しているところでございます。

感染拡大により保育園や学校をはじめ福祉・市民活動などの場において多くの事業や行事が中止・縮小を余儀なくされ、人々のふれあいや交流の機会が減少し、人とのつながりの希薄化や地域コミュニティ力の低下が心配されます。

市としまして、これまで築いた人と人との結びつきを継続しさらに強固なものとしていくためにも、コロナ禍の2年以上もの間に培った感染症対策の経験を踏まえ、事業や行事などは、できる限り開催してまいります。

特に、市内外で人気の高い「梨マラソン大会」については、多くの団体の協力をいただき、本年は10月2日に開催することとしております。また、市民プールも7月1日からオープンすることとしております。

新型コロナウイルス感染症については、変異ウイルスの脅威など、先が見通せない状況にありますが、市民の命と健康を守るための取り組みを最優先とすることともに、国、県の動向を注視し、臨機応変に事業や行事に取り組み、あらゆる災害に備え活力あふれるまちづくりを進めてまいります。

なお、地方創生臨時交付金を活用した取り組みを行うため、今議会においても補正予算を提案させていただいております。

次に、「株式会社カスミとの連携による移動スーパーの巡回販売の開始」について申し上げます。

株式会社カスミと白井市は、相互に連携を強化し、協働による活動を推進することで、総合的な住民サービスの向上を図るため、令和4年3月3日に包括連携に関する協定を締結しました。

この協定に基づき、市内の移動販売に向け協議を進め、この度、6月13日から移動スーパーの運行を開始することとなりました。

移動スーパーは、買い物に不便を感じている市民の買い物支援として、また、高齢者の方が買い物のため外出することにより介護予防につなげることを目的とし、生鮮食品や加工食品、日用品など約650品目を軽トラックに積載し、市内の身近な場所を巡回し、商品を販売いたします。

巡回場所は、商業施設から離れた地域や高齢化率の高い地域を中心に35箇所を選定し、公共施設や自治会館、福祉施設、自動車販売店、飲食店などにもご協力を頂いております。

今後も、地域の支えあい活動の創設などを行う生活支援コーディネーターを中心に、地域ニーズの把握や販売場所の見直しを行い、多くの人々の賑わいの場となるよう、市としても支援をしてまいります。

最後に、「健康会議の開催」について申し上げます。

昨年、令和３年２月に、大塚製薬株式会社と本市は、市民の健康づくりや災害時支援などに関する包括連携に関する協定を締結いたしました。

この協定締結に基づき、大塚製薬株式会社から「健康会議」についてのご提案をいただき、令和４年６月１７日に実施することとなりました。

「健康会議」とは、健康に関する課題に対し、市や事業者などの様々な団体とともに、解決に向けての取組みを協議し、連携しながら実施していくものです。このたびの初めての会議では、年々増加する「熱中症」について、熱中症対策アドバイザーの養成やセミナーの開催など、予防や啓発方法などを事業者や団体と横断的に議論し、熱中症事故防止に向け、様々な取組みをおこなっていくものとなっております。

今回の事業をスタートとして、市や事業者をはじめ、様々な団体が連携し、「オール白井」で健康づくりに関する体制を強化することにより、市民一人ひとりの一層の健康保持・増進につながるよう、取組みを進めてまいります。

以上で諸般の報告を終わります。